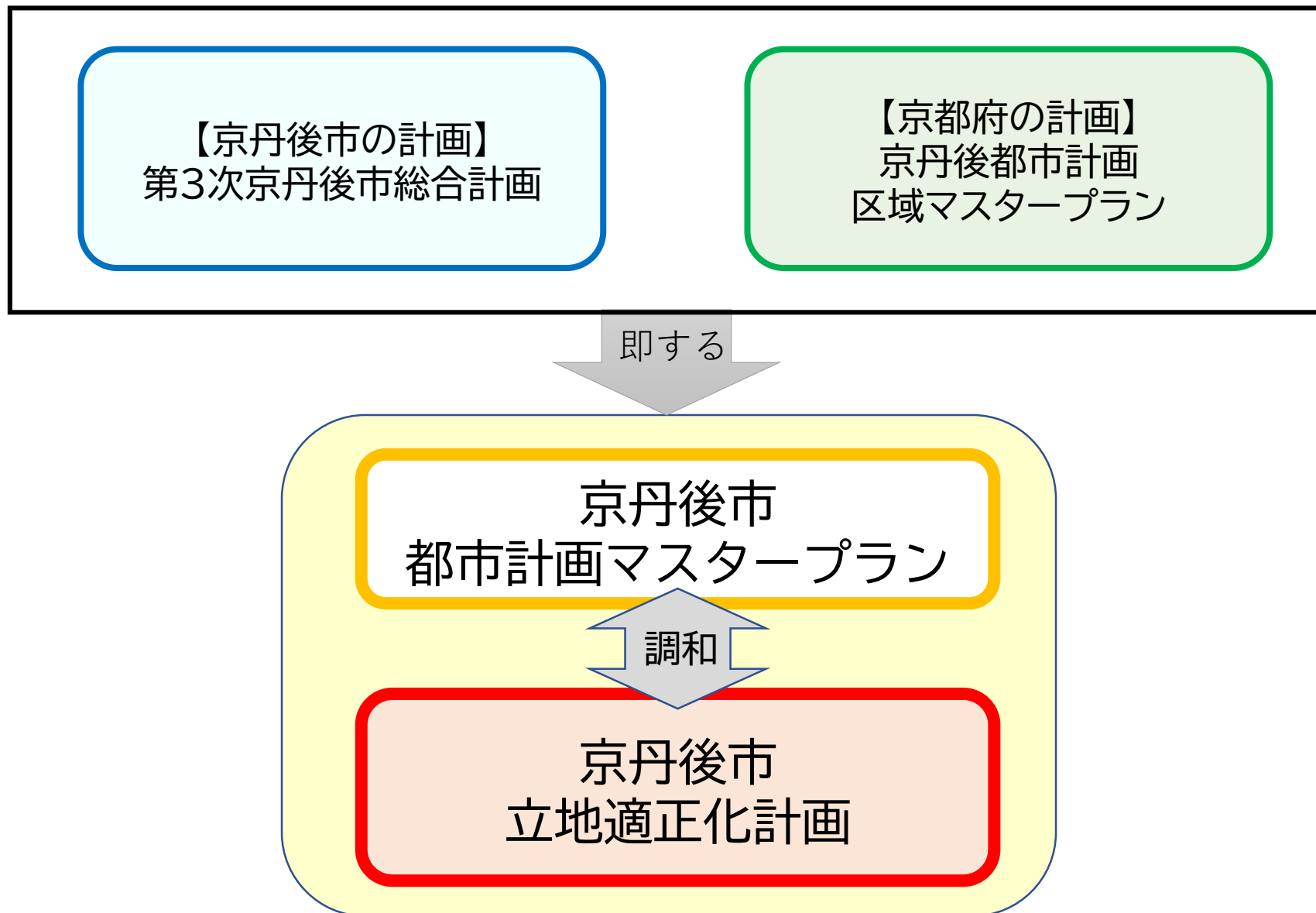


# 立地適正化計画

(基本的な方針等)

# 1 立地適正化計画の位置づけ



## 2 都市計画マスタープランと立地適正化計画

立地適正化計画は、都市計画マスタープランにおける『都市の将来像』を受けて、具体的な誘導区域や誘導施設、防災まちづくりの取り組み等を位置付けるもの

都市の将来像

### 都市計画マスタープラン（案）

#### 全体構想（分野別の方針）

土地利用

拠点形成

軸の形成

都市基盤整備

都市機能施設

自然・環境、地域資源活用

防災

#### 地域別構想（地域別の方針）

旧6町

実現方策

### 立地適正化計画

#### 都市機能・誘導区域

都市機能誘導区域、地域生活拠点

居住誘導区域

誘導施設

誘導施策

防災指針

目標指標

### 3 基本的な方針（都市計画マスタープラン(案)）

#### ■まちづくりの基本理念

自治と協働によって進めるまちづくり

#### ■将来都市像

～大動脈とつながる大交流のまち 京丹後～

多極ネットワークによる「多彩で強靱な一体型のまちづくり」

#### ■まちづくりの5つの目標

- 1 拠点の形成と連携による暮らしやすく魅力のあるまちづくりを進めます。
- 2 それぞれの居住地で豊かに住み続けられるまちづくりを進めます。
- 3 道路・交通ネットワークの充実による賑わいや活力のあるまちづくりを進めます。
- 4 強みを活かし産業・地域経済の発展に向けたまちづくりを進めます。
- 5 誰もが安全で安心して過ごせるまちづくりを進めます。

# 4 基本的な方針（総合計画・都市計画マスタープラン）

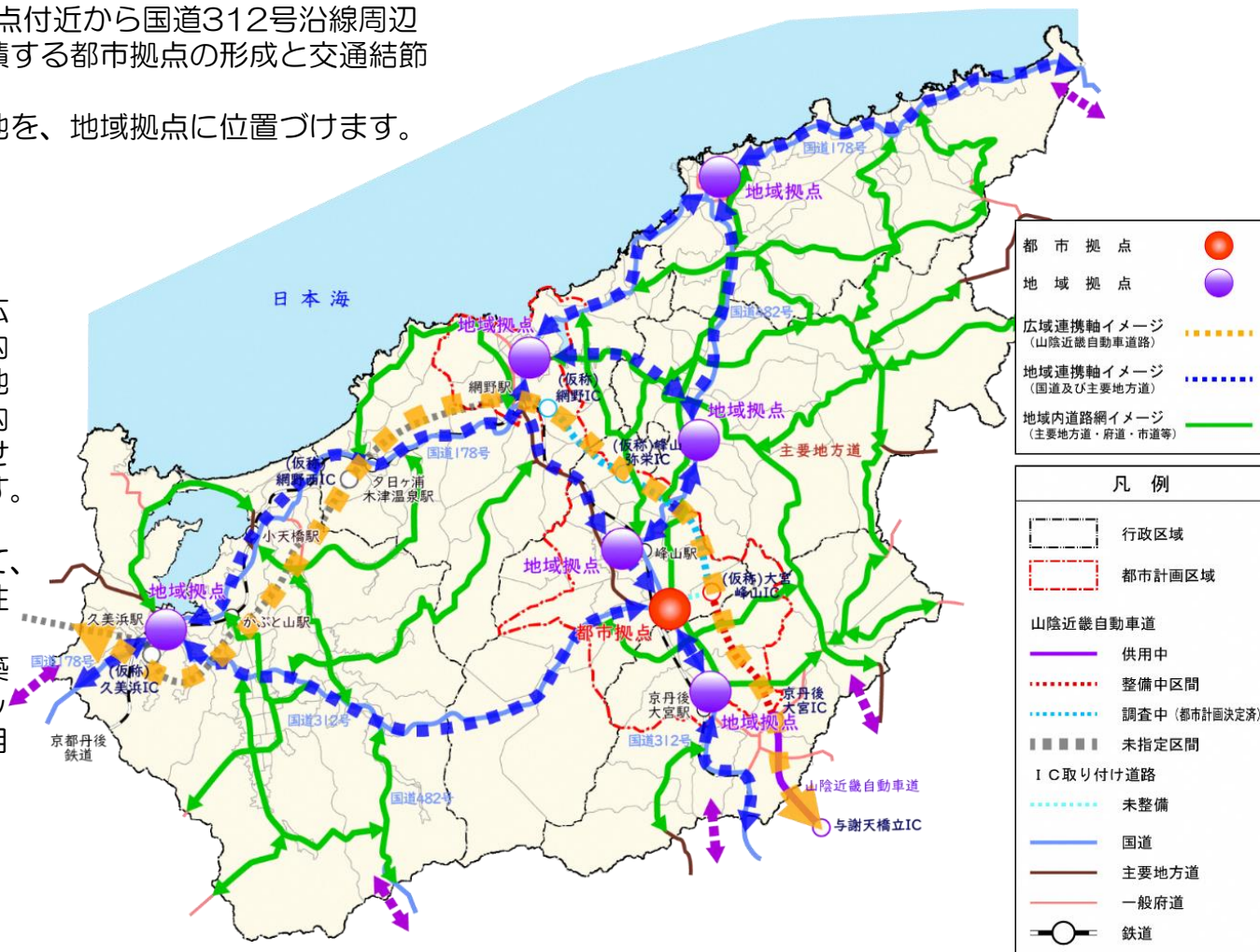
## ■ 将来の都市構造

### ○ 拠点の形成

- 国道312号と482号の交差点付近から国道312号沿線周辺部において、都市機能を集積する都市拠点の形成と交通結節機能の向上を図ります。
- 各地域の市民局周辺の市街地を、地域拠点に位置づけます。

### ○ 軸の形成

- 市外と市内各地域を結ぶ「広域連携軸」と、拠点間、市内各地域や隣接市町を結ぶ「地域連携軸」を位置付け、市内全域のアクセス性を向上させるネットワークを形成します。
- 市全域の国道・主要地方道・一般府道・市道等を利用して、地域拠点と各地域間の連続性の向上を図ります。
- 公共交通ネットワークの構築と、利用促進による多極ネットワーク型のまちづくりを目指します。



## 5 施策（基本的な考え方）

### ■ 拠点の形成

人口減少下においても市民生活の利便性確保と市域全体の持続的な発展を両立するため、都市拠点と6つの地域拠点の形成を進める。



誘導区域	都市拠点 地域拠点（峰山・大宮・網野）
地域生活拠点	地域拠点（丹後・弥栄・久美浜）

### ■ 軸（ネットワーク）の形成

道路と公共交通のネットワーク整備により、人・モノ・ことの流動、アクセス性、防災性を向上させる。



広域連携軸（市外との接続）、  
地域連携軸（市内連携）、公共  
交通ネットワークの維持・確保

### ■ 都市基盤整備、都市機能施設

産業基盤の整備、住環境、生活関連基盤の維持・確保、拠点等役割に応じた都市機能の誘導・利便性等の確保等を図る。



産業の振興、住環境の整備、生  
活関連基盤等の取組  
都市機能施設・誘導施設等誘導

### ■ 防災

水害や土砂災害を抑制・軽減する都市基盤整備、災害リスクの高い地域での土地利用コントロールなど、市民の安全確保を図る。



防災指針、誘導区域設定等

### ■ 土地利用、地域資源活用等

拠点での機能の集積と高度な土地利用の促進、地域資源の保全・活用等を図る。

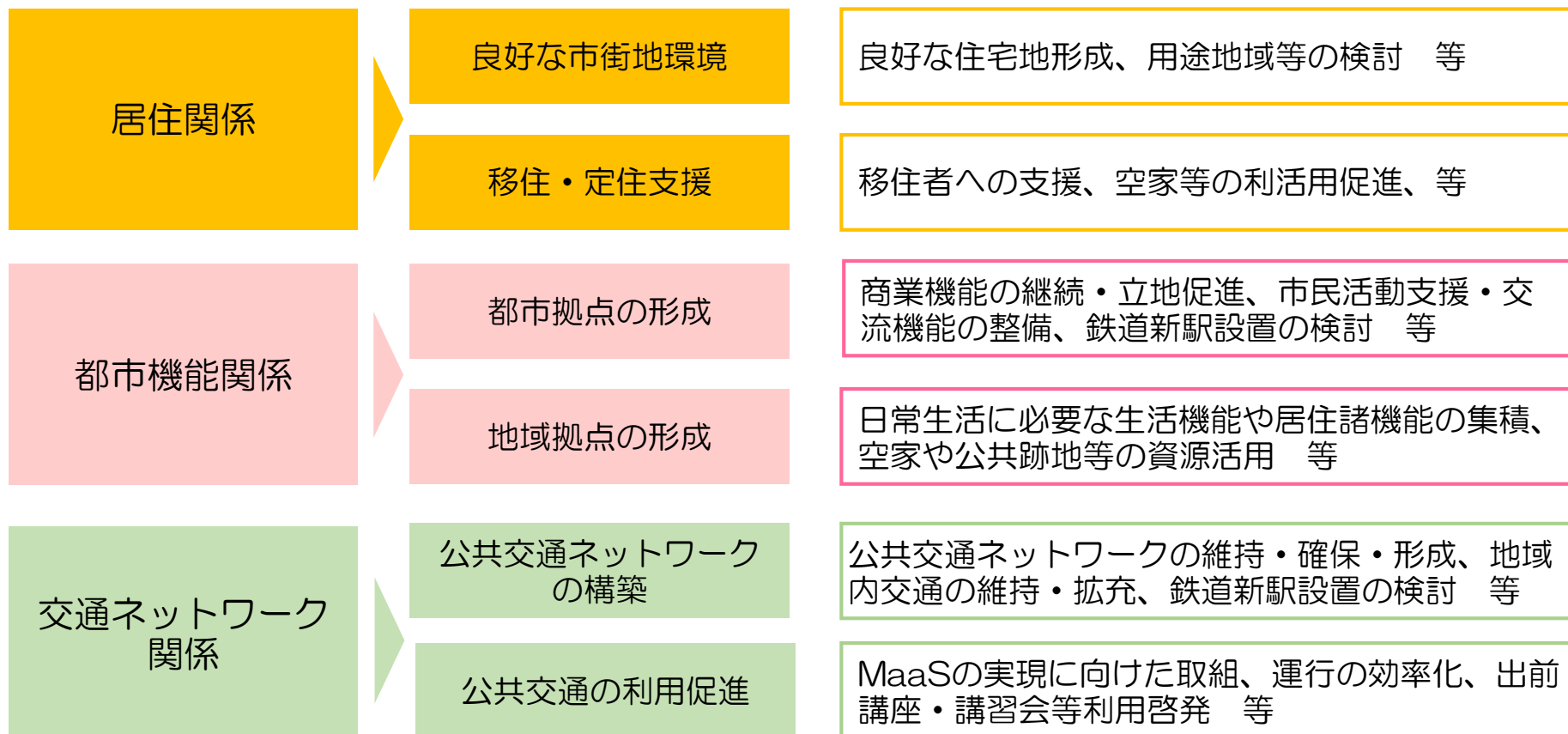


土地利用等での誘導

## 6 誘導施策

- 居住、都市機能、交通ネットワークに係る取組により計画実現につなげていく

### ■ 誘導施策の方向性



# 7 防災指針

## ■ 防災指針

誘導区域に都市機能等の誘導する上で重要となる、その区域での安心・安全の確保について、区域の設定や取組など防災の確保についての考え方などを指針としてまとめる。

## ■ 防災指針の検討

災害リスク分析と課題の抽出

- 災害リスク（レッドゾーン、イエローゾーンなど）の重ね合わせによる分析(回避性)
- 課題（残るリスク 浸水想定など）の抽出

誘導区域の設定、課題の  
取組方針

- 回避性を踏まえ誘導区域を設定
- 課題への取組方針を検討。

防災指針としての取組  
（長期・中期・短期）

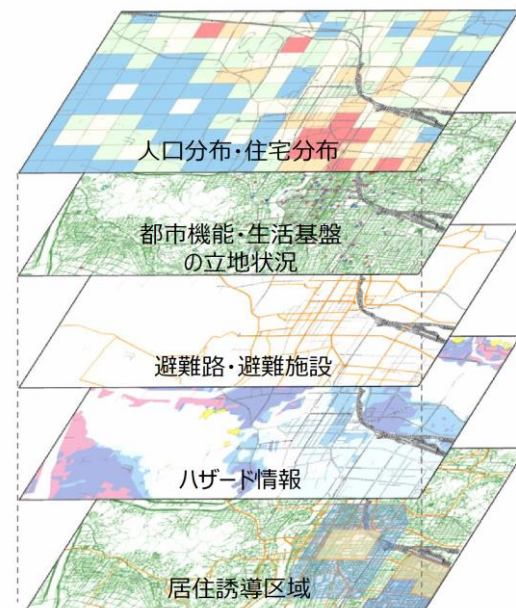
- 防災指針と課題へ取組と長期・中期・短期などのスケジュールを検討。

# 7 防災指針

## ■ 災害リスク分析

- 居住誘導区域内における災害リスク：地震と洪水
- 地震災害は、そのリスクに基づく居住エリアの選定が困難であり、全市的な建物の耐震化などにより災害リスクの低減を図ります。

洪水と都市情報を重ね合わせてリスク分析



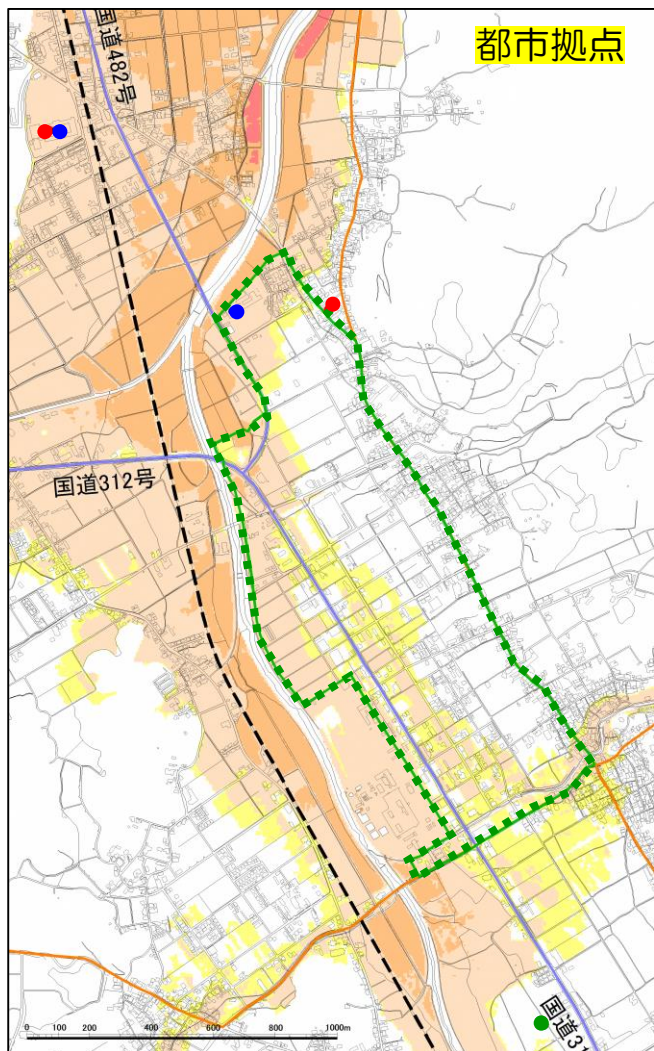
災害リスク分析の視点

ハザード情報	都市情報	分析の視点
洪水 ・ 浸水深（想定最大）	・ 避難所の分布 ・ 防災拠点 ・ 住宅・建物分布 ・ 都市機能（病院、福祉施設）	・ 避難施設等が活用できるか ・ 垂直避難で対応できるか ・ 浸水による機能低下がないかなど

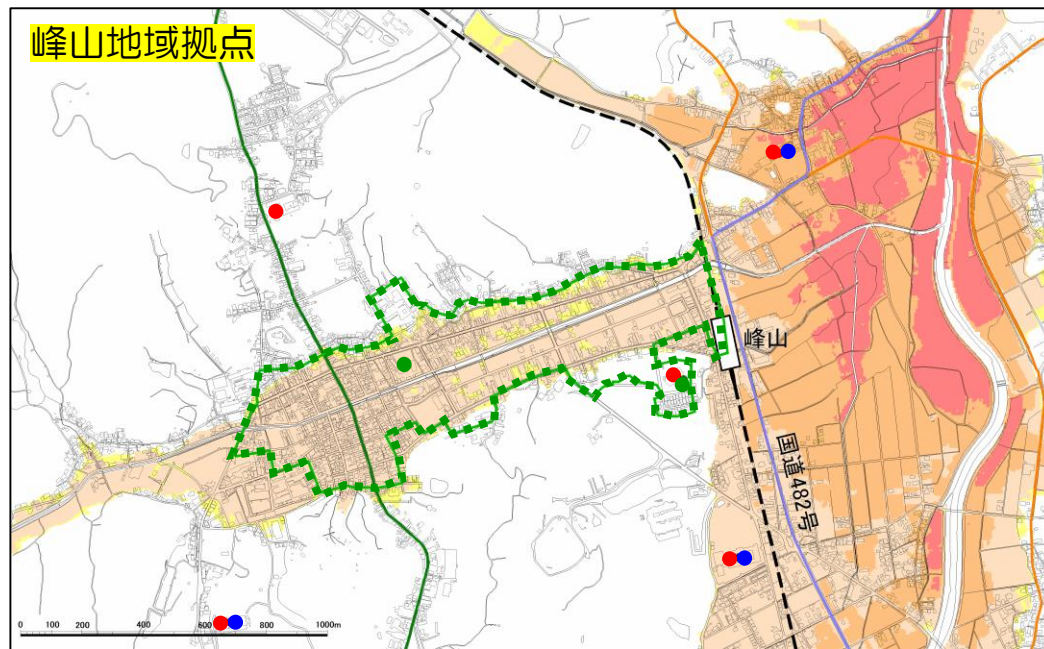


# 7 防災指針

## ■災害リスク分析（①浸水深×避難所・避難場所）



• 福祉避難所が、峰山や網野地域の洪水浸水想定区域内に立地している。



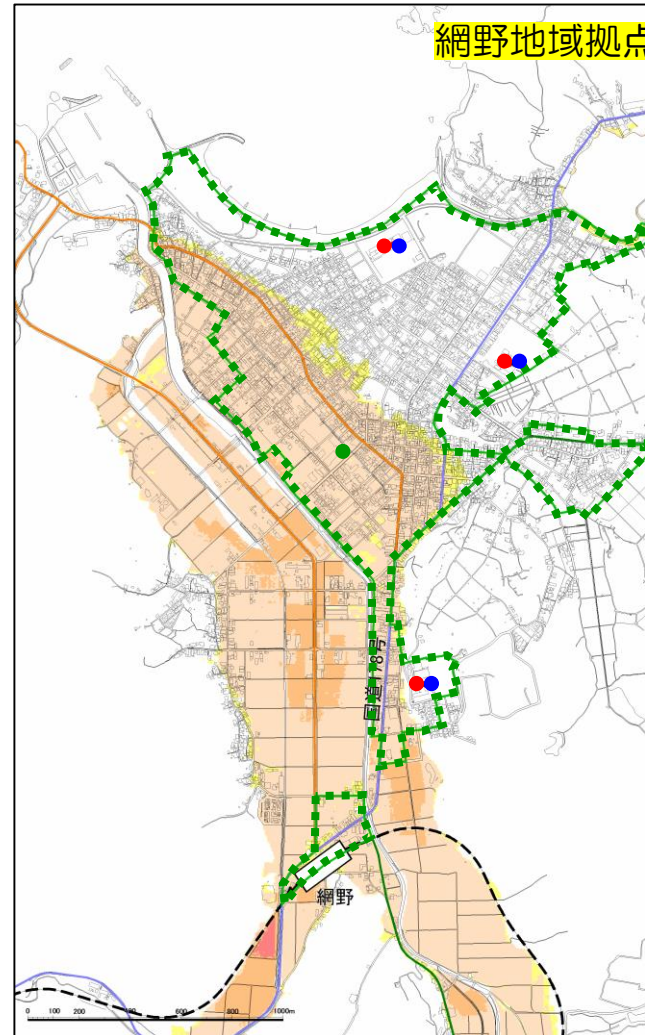
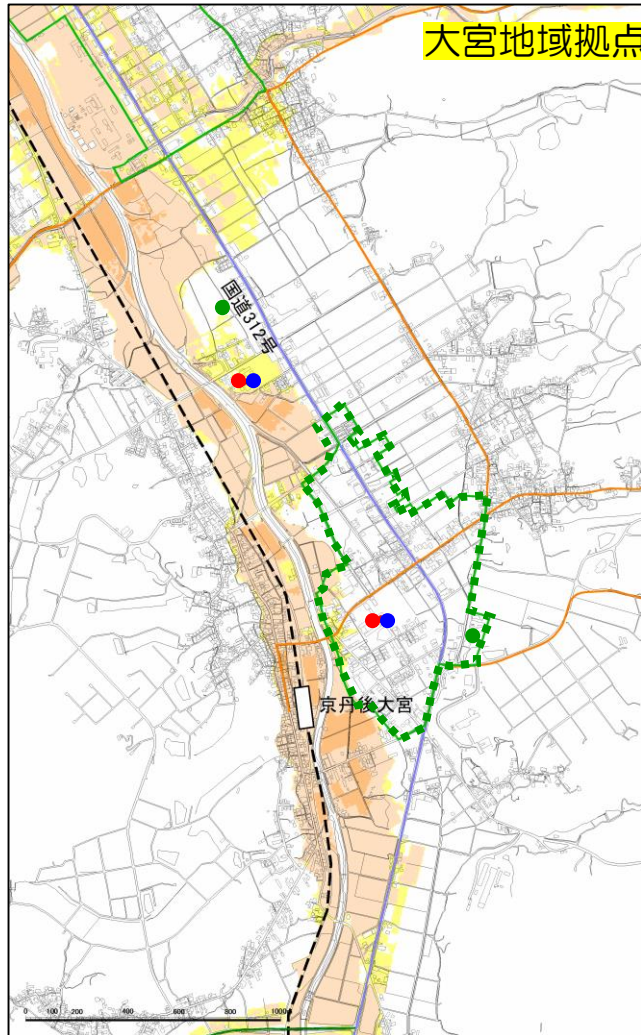
- 誘導区域検討案
- 指定避難所
  - 福祉避難所
  - 指定緊急避難場所(風水害)

災害ハザード(洪水浸水深(想定最大))

- 0.5m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 10.0m以上

# 7 防災指針

## ■災害リスク分析（①浸水深×避難所・避難場所）



誘導区域検討案

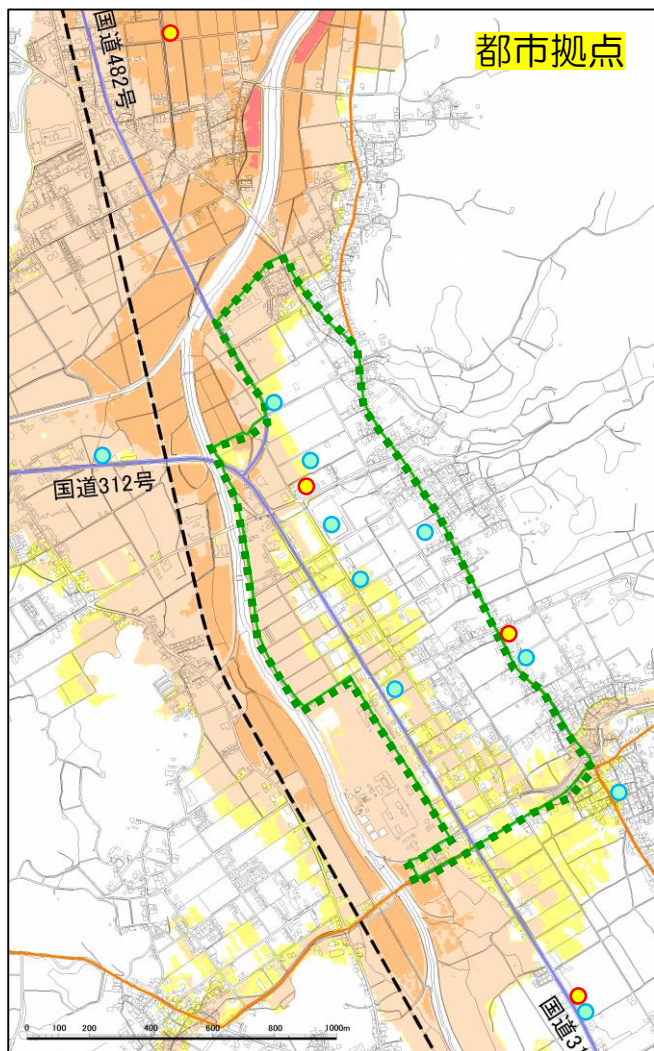
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 指定緊急避難場所(風水害)

災害ハザード(洪水浸水深(想定最大))

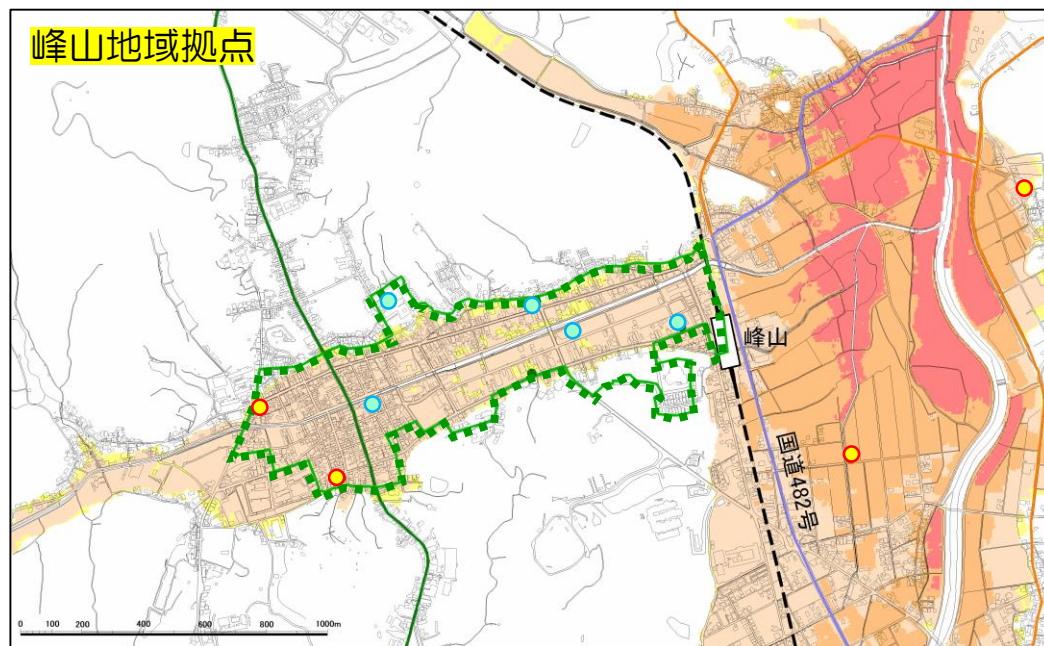
- 0.5m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 10.0m以上

# 7 防災指針

## ■ 災害リスク分析 (②浸水深×医療・高齢者施設)



• 福祉施設や医療施設が、峰山や網野地域の洪水浸水想定区域内に立地している。



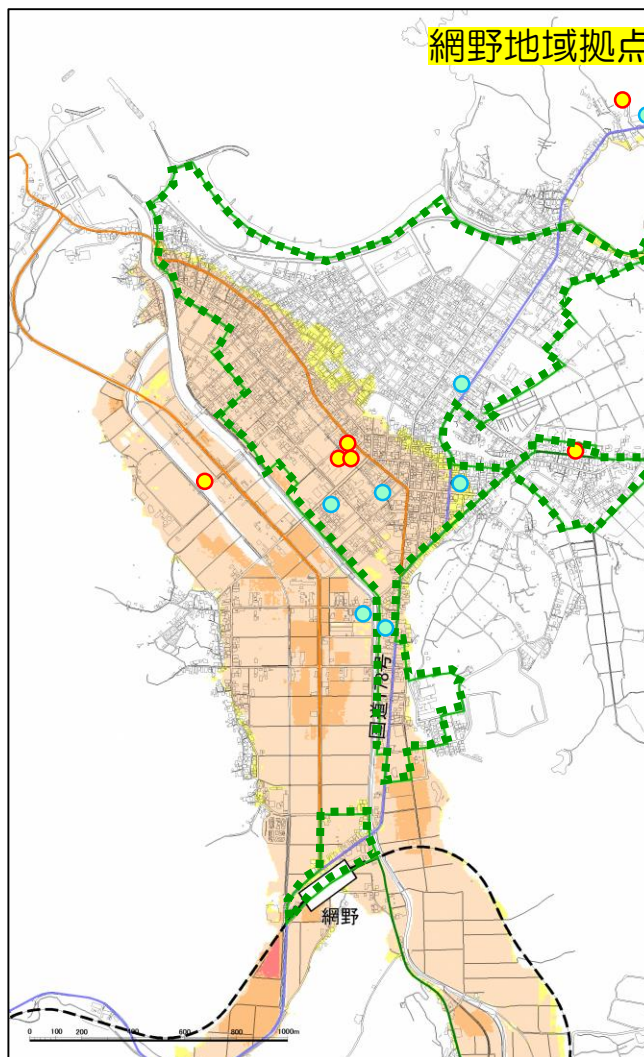
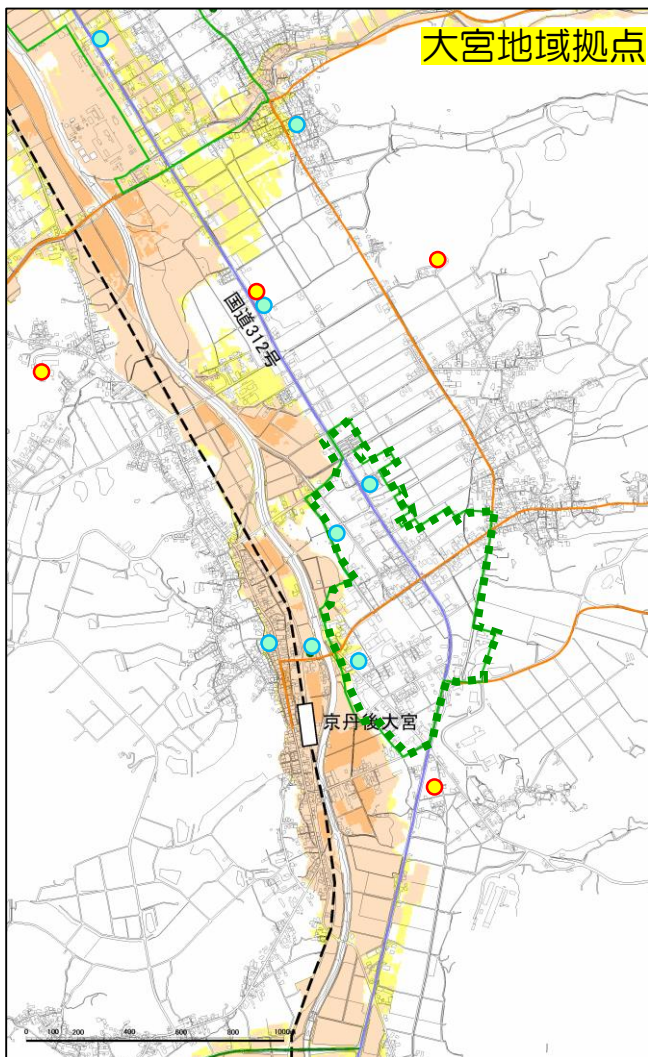
- 誘導区域検討案
- 福祉施設
- 医療施設

- 災害ハザード(洪水浸水深(想定最大))
- 0.5m未満
  - 0.5m~3.0m未満
  - 3.0m~5.0m未満
  - 5.0m~10.0m未満
  - 10.0m以上

# 7 防災指針

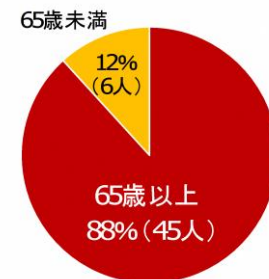
## ■災害リスク分析（②浸水深×医療・高齢者施設）

参考（平成30年西日本豪雨 岡山県倉敷市真備町の被害）



死者の多くが高齢者

犠牲者の年齢



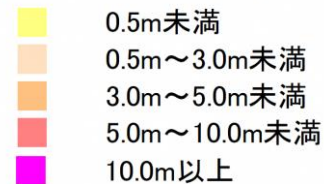
出典：国土交通省

誘導区域検討案

福祉施設

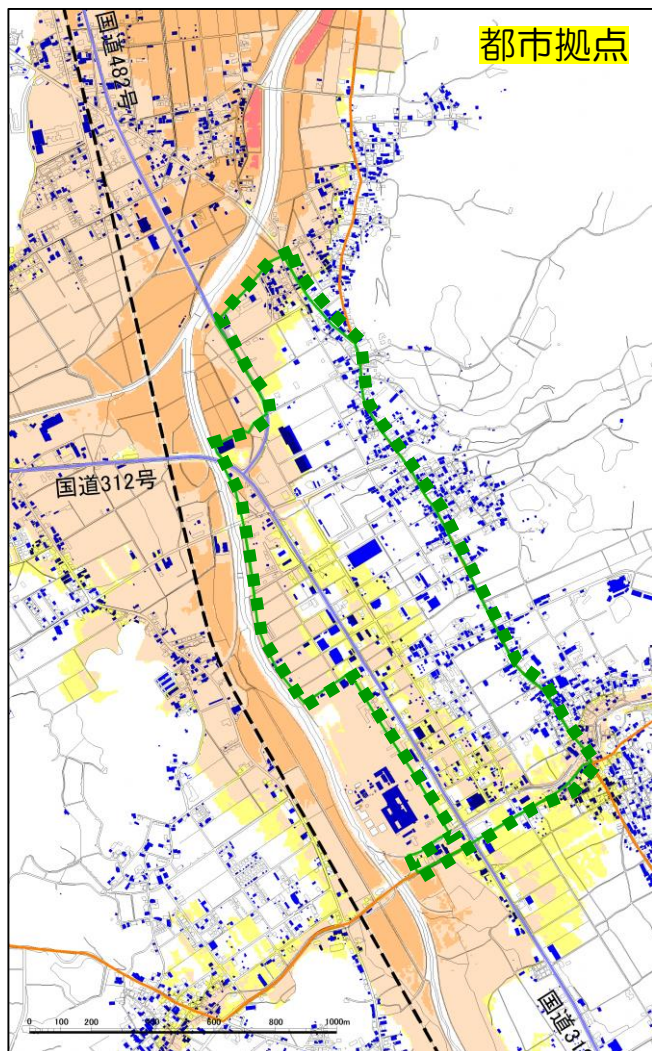
医療施設

災害ハザード(洪水浸水深(想定最大))

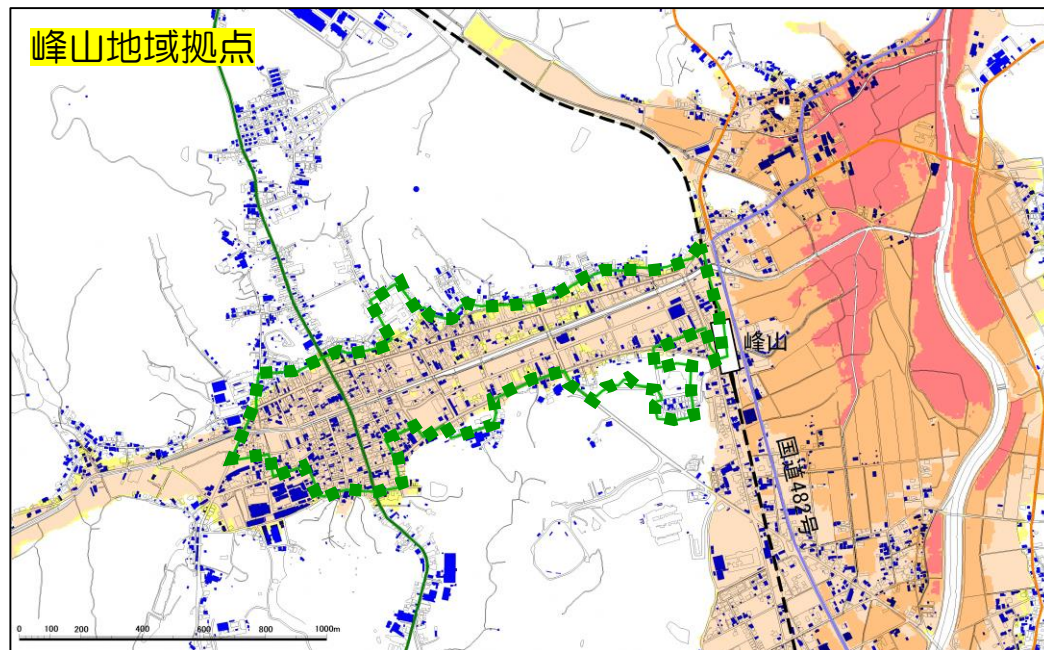


# 7 防災指針

## ■災害リスク分析（③浸水深×建物高さ）



- 平屋建ての建物が、峰山地域や網野地域の浸水深0.5～3.0m未満の浸想定区域に立地している。



誘導区域検討案

一階建て建物

災害ハザード(洪水浸水深(想定最大))

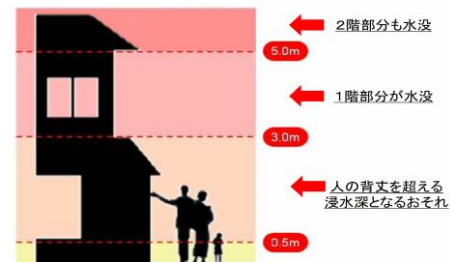
- 0.5m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 10.0m以上

# 7 防災指針

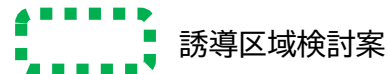
## ■災害リスク分析（③浸水深×建物高さ）

参考（浸水深と被害のリスク）

浸水深3.0m未満でも、建物の1階部分は浸水

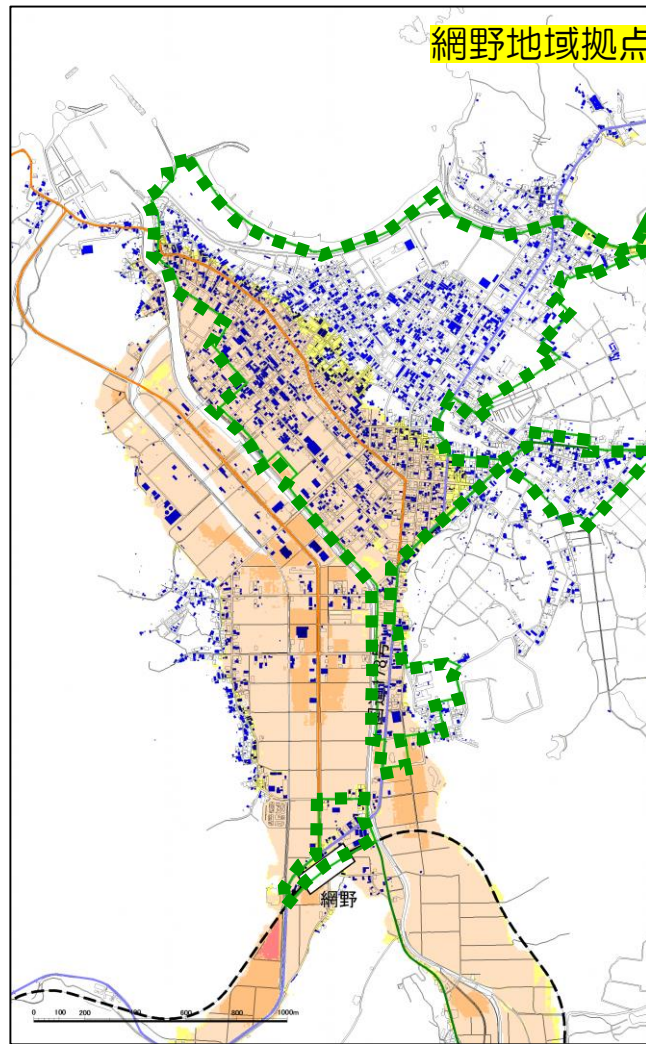
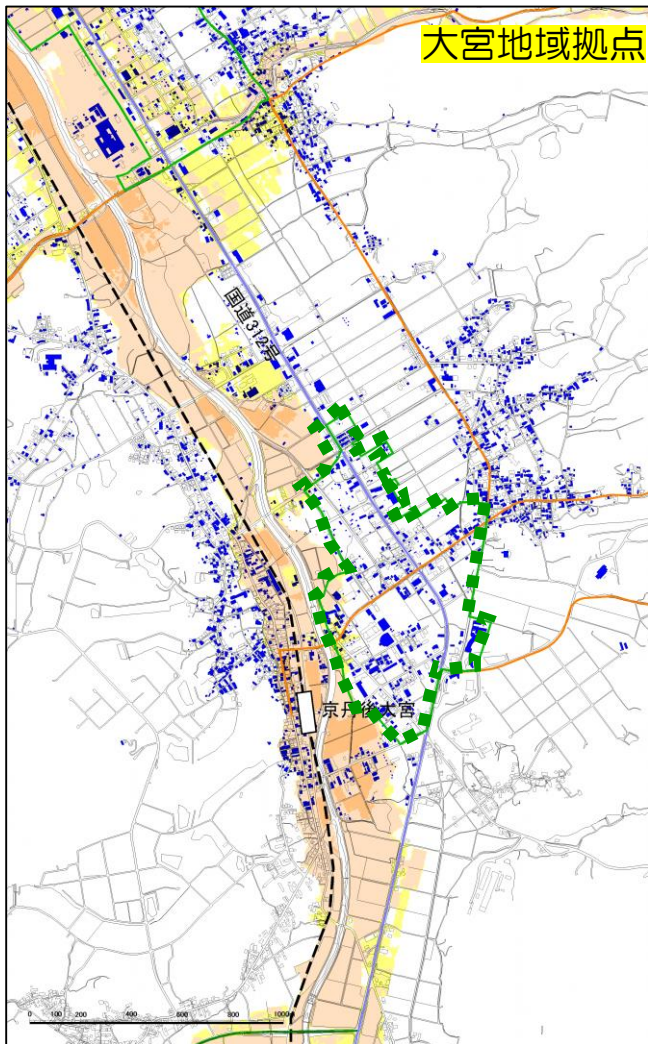


出典：国土交通省



災害ハザード(洪水浸水深(想定最大))

- 0.5m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 10.0m以上



## 7 防災指針

### ■防災まちづくりの課題

- 浸水想定区域に福祉避難所や医療施設、高齢者福祉施設が立地している箇所があり、避難体制の充実が必要
- 浸水想定区域に平屋建ての建物立地しており、避難に対する安全確保が必要

### ■防災まちづくりの方針

#### ■ハード対策

国、府等の関係機関との連携・調整による総合治水対策に取り組みます。

#### ■ソフト対策

情報の周知等による災害に強い体制づくりや、国・府と連携したソフト対策に取り組みます。

# 7 防災指針

## ■取組内容（例）

災害区分	地域	取り組み	分類	実施主体
土砂災害	全域	砂防えん堤、土石流対策施設等の土砂災害対策	ハード対策	府・市
洪水災害	全域	総合的な治水対策、河川改修等	ハード対策	府・市
津波災害	沿岸部	漁港海岸保全施設の整備	ハード対策	国・府・市
その他 共通・地震	全域	防災設備のバックアップ	ハード対策	市
		緊急輸送道路の整備	ハード対策	府・市
		交通網による輸送能力の強化	ハード対策	国・府・市
		土地利用の誘導	ソフト対策	市
		ハザードマップ等情報周知	ソフト対策	市
		市民に対する教育・訓練	ソフト対策	市
		自主防災組織の活動促進	ソフト対策	市
		NPO・ボランティアとの連携強化	ソフト対策	市

## 8 目標指標

分野	評価指標（案）	単位	観点
居住	誘導区域内人口密度	人/ha	<a href="#">密度低下の抑制</a>
都市機能	都市機能施設の施設数	施設	<a href="#">施設数の維持・向上</a>
公共交通(ネットワーク)	鉄道、バス利用者数	人/年	<a href="#">利用者数の維持・向上</a>
防災	自主防災組織を構成する行政区数 水害等行動タイムライン作成地区数	地区数	<a href="#">災害対応体制力向上</a>
エリア	市内の地価相場	%	<a href="#">エリア価値向上</a>